

# 委員会 レポート

委員会活動として、  
閉会中に行った所管事務調査の結果内容を、  
各委員会は第7回定例会において、  
次のとおり報告しました。

## 総務文教常任委員会 調査報告

### 学校現場における いじめの状況について

本町において学校がいじめと認知した件数は、本年度6月と8月に行われた調査でそれぞれ2件から3件であったと説明を受けた。いじめの認知は、本人からの訴えや友人からの情報提供等様々だが、短期間で解消しており、継続して状況を

見るケースもあるが件数は少ないとのことだ。いじめの未然防止には、早期発見、早期対応が重要であることから、学校現場では、いじめ問題への取組みを学校経営計画の危機管理への対応として位置付け、その重大性が認識され

ている。また、教職員と児童生徒との信頼関係構築に向け、児童生徒と触れ合う機会を設けて様子を見守り、観察する

なされる可能性のある行為についての把握にも努めている。教育委員会では、教

育指導幹による定期的な学校訪問を実施し、いじめに関する相談、助言を行うほか、中学



早期発見・早期対応が重要。

校には「心の教室相談員」を配置し、いじめに限らず相談しやすい環境づくりに取り組んでいる。いじめやいじめを要因として大事故につながる

がらないよう学校と連携し、未然防止、早期発見、早期解決に今後も努めていくとの説明があった。

教育現場では多くの事件を真摯に受け止めることが感じられ、深刻ないじめのケースは無かったとのことだが、今後も、いじめが発生しづらい環境を社会全体で一丸となつてつくり、いじめが撲滅されることを期待したい。

## 産業厚生常任委員会 調査報告

### ① 一般廃棄物処理基本計画について ② 主要建設工事の進捗状況について

① 一般廃棄物処理基本計画について  
本年3月に策定された一般廃棄物処理基本計画に基づき、本町の将来的なごみ処理方式の検討を行うため、町ごみ処理システム検討委員会での協議の状況等について、3回にわたって担当課から説明

本町の「ごみ処理施設である清掃センター」は劣化が進み、5年から10年先には使用の限界を迎える可能性がある。また、最終処分場については、ごみの分別の徹底などにより延命が図られ、平成30年度までは使用可能である

このことであった。これらの状況を踏まえ、今後のごみ処理方式について、同検討委員会では、十勝環境複合事務組合が運営している「ごみ処理施設」(1市6町2村で運営)に参画する広域化処理方式を選択したとの説明を受けた。

今後は、広域化処理に向けての具体的な方策の議論に入っていく

の輸送コストを抑えるための方策や、ごみ処理手数料などを十分検討したうえで、住民への情報提供を適切に行うよう心がけていきたい。

② 主要建設工事の進捗状況について  
古潭橋橋梁架替事業、清水北1条道路改良舗装事業、清水南2条道路改良舗装事業、まちなか団地建設工事外構事業、御影浄水場整備事業について現地調査を行った。

冬期工事においては、積雪や寒冷により、作業効率も悪いことから、今後は秋までに完了するよう十分配慮願いたい。



町清掃センターの状況を視察。